

家保通信

Vol. 36 No. 12 3月号
東京都家畜保健衛生所



令和5年3月1日

令和5年1月25日、令和4年度（第64回）東京都家畜保健衛生業績発表会がオンライン開催されました。



詳細は裏面

ソデグロヅルで高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)陽性(多摩動物公園)

2/23に死亡が確認されて簡易検査陽性となった1羽について、3/1に高病原性(H5亜型)と確認されました。ウイルスは都内に存在しますので、鶏舎内にウイルスを持ち込まないように飼養衛生管理基準(特に7項目)の遵守を確実に！

埼玉県日高市で発生したHPAI(国内71例目)に係る移動制限区域、搬出制限区域は解除されました。

春先は牛のリステリア症に注意しましょう

本症はリステリア菌によって引き起こされ、発熱、著しい流涎、起立不能、神経症状等を起こし、まれに急死する病気です。春先から初夏に起こりやすく、昨年の春に都内でも発生がありました。pHの上昇したサイレージは、リステリア菌が増殖しやすい環境となるため、変敗したサイレージは要注意です。給与しないようにしてください。分娩やその他のストレスが発症の引き金となります。早期発見と適切な治療により、症状の回復が期待できます。ただし、機能障害に陥ったものを回復させることは困難です。

令和4年度アルボウイルス感染症サーベイランス結果

吸血昆虫が媒介するアルボウイルスの感染症サーベイランスは、アカバネ病などの発生予察のため、毎年全国的に実施されています。今年度の抗体調査結果は別紙のとおりですが、アカバネ病は沖縄県、熊本県、さらに北海道で抗体陽性が確認されました。都内の抗体陽性はありませんでしたが、無対策では発生する可能性があります。ワクチン接種で地域全体の抗体保有率を上げることも効果的な対策となります。吸血昆虫が活発になる前の4～6月に毎年、繁殖牛へ接種することが重要です。他の病気の検査結果については次号でお知らせします。

アフリカ豚熱(ASF)、アジアで拡大中！

令和5年1月～2月、韓国の養豚場で4例(29～32例目)立て続けにASFが発生、また、令和5年2月9日にはシンガポールで初感染が確認されています。入国規制が緩和され、人や物の移動が活発化し、ASFの国内侵入リスクが高い状況が続いています。引き続き、飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。

千葉県で豚流行性下痢(PED)の発生が続いています！詳細はホームページで確認ください。

千葉県HP : <https://www.pref.chiba.lg.jp/chikusan/ped-chiba.html>





「定期の報告」の提出はお済みですか？

定期報告書の提出期限は以下のとおりです。忘れずにお早めの提出をお願いします。報告様式の紛失等の際はHP (URL: 令和5年2月号に掲載) から印刷するか、当所までご連絡ください。提出書類はコピー等により、手元に保管しておきましょう。

家畜所有者の区分	報告期限
牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚及びいのししの所有者	令和5年4月15日まで
鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥の所有者	令和5年6月15日まで



薬剤耐性菌対策の推進～抗菌剤の慎重使用等の対策を～

薬剤耐性菌は抗菌剤が効かない細菌で、抗菌剤の使い過ぎなどにより出現し、動物の治療が困難になるばかりか、医療現場でも問題視されています。実際、農場で、感受性が認められた抗菌剤の継続使用で、感受性が低下した事例が確認されています。以下は農水省が示すポイントですが、これらに取り組み、**抗菌剤の慎重な使用を徹底しましょう。**（詳細は以下URL、QRコードをご確認ください）

～生産者の方～

- ① 感染症予防：飼養衛生管理基準の遵守
- ② 家畜の状況を的確に把握：毎日の健康観察
- ③ 発病後の経過、措置の状況、過去の感染症の発生状況等の情報を獣医師に伝える
- ④ 抗菌剤の正しい使用：用法用量、使用禁止期間等の遵守



～獣医師の方～

- ① 感染症予防：適切なワクチン接種、飼養衛生管理基準指導
- ② 家畜の健康状態、発病後の経過、原因病原体等を的確に把握し診断する
- ③ 抗菌剤の正しい選択：薬剤感受性試験の結果を踏まえた、必要最低限の使用
- ④ 薬剤耐性に関する情報共有



農水省HP(動物に使用する抗菌性物質について)：

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html>



3月のBSE検査の電話受付は平日のみです


東京都家畜保健衛生業績発表会は、日常業務の中で当所職員が行なった指導業務、調査、研究等の成果について発表を行っています。全国の家保で行われています。今年度は13演題の発表が行われました。以下のURL、QRコードから平成25年～令和3年度の演題の詳細をご覧くださいことができます。

※令和4年度の演題の詳細については、令和5年3月中にホームページに掲載する予定です。

東京都HP：<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/animal/eiseijyo/gyouhatu/>



発行日 令和5年3月1日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL : 042-588-7171

携帯 : 090-6941-4315 (緊急用)

